

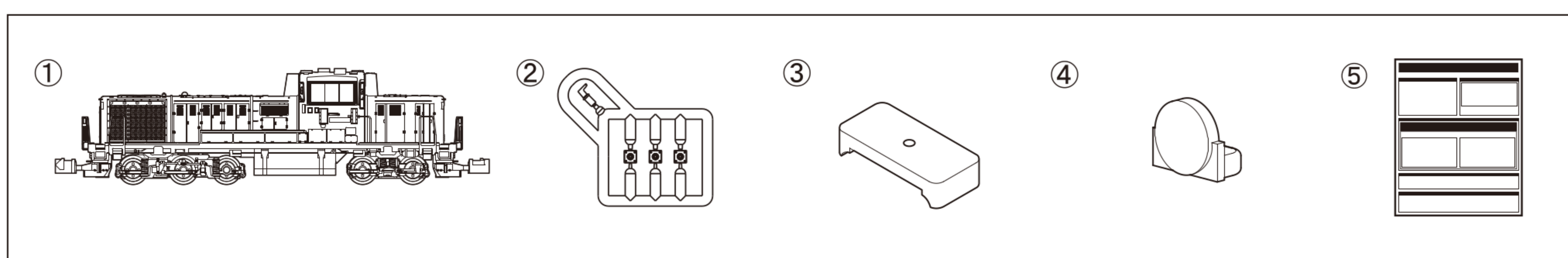
※本商品に付属のパーツを取り付ける場合は、プラスチック用ニッパー・ピンセット等が必要です。

この度はロクハン製品をお買い求めいただきありがとうございます。鉄道模型は精密に出来ておりますので、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

1 取り扱い上の注意

- 本製品の運転には必ずロクハン製コントローラーをご使用ください。
- 運転の前には線路(金属レール)の清掃をしてください。
- 車輪に汚れやホコリが付着したら拭き取ってください。
- 長時間の連続走行はしないでください。
- 走行中、急激に進行方向を切り替えしないでください。進行方向を変える場合は一度停車させてから進行方向を切り替えてください。
- 脱線やショートした場合はコントローラーの電源を切り、プラグをコンセントから抜いた後、原因を取り除いてください。
- 故障の原因になりますので、分解や改造をしないでください。
- 車両を直射日光や蛍光灯に長時間当てると塗装が変色しますのでご注意ください。
- ホコリの多い場所や高温多湿となる場所、暖房器具の近くでの使用、保管はおやめください。
- 感電の危険がありますので、製品をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。
- 製品の尖っている部分でケガをしないよう、十分にご注意ください。
- 製品の特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。

2 商品内容



- | | | | |
|--------------|------------------------------------------------------------|----------------------|----------------|
| ①DE10……………1両 | ②ランナーパーツA……………1枚
列車無線アンテナ(内2個は予備です) 3個
逆L字型無線アンテナ 1個 | ③列車無線アンテナ取付治具……………1個 | ④ヘッドマーク……………4個 |
| | | ⑤取扱説明書(本紙)……………1枚 | |

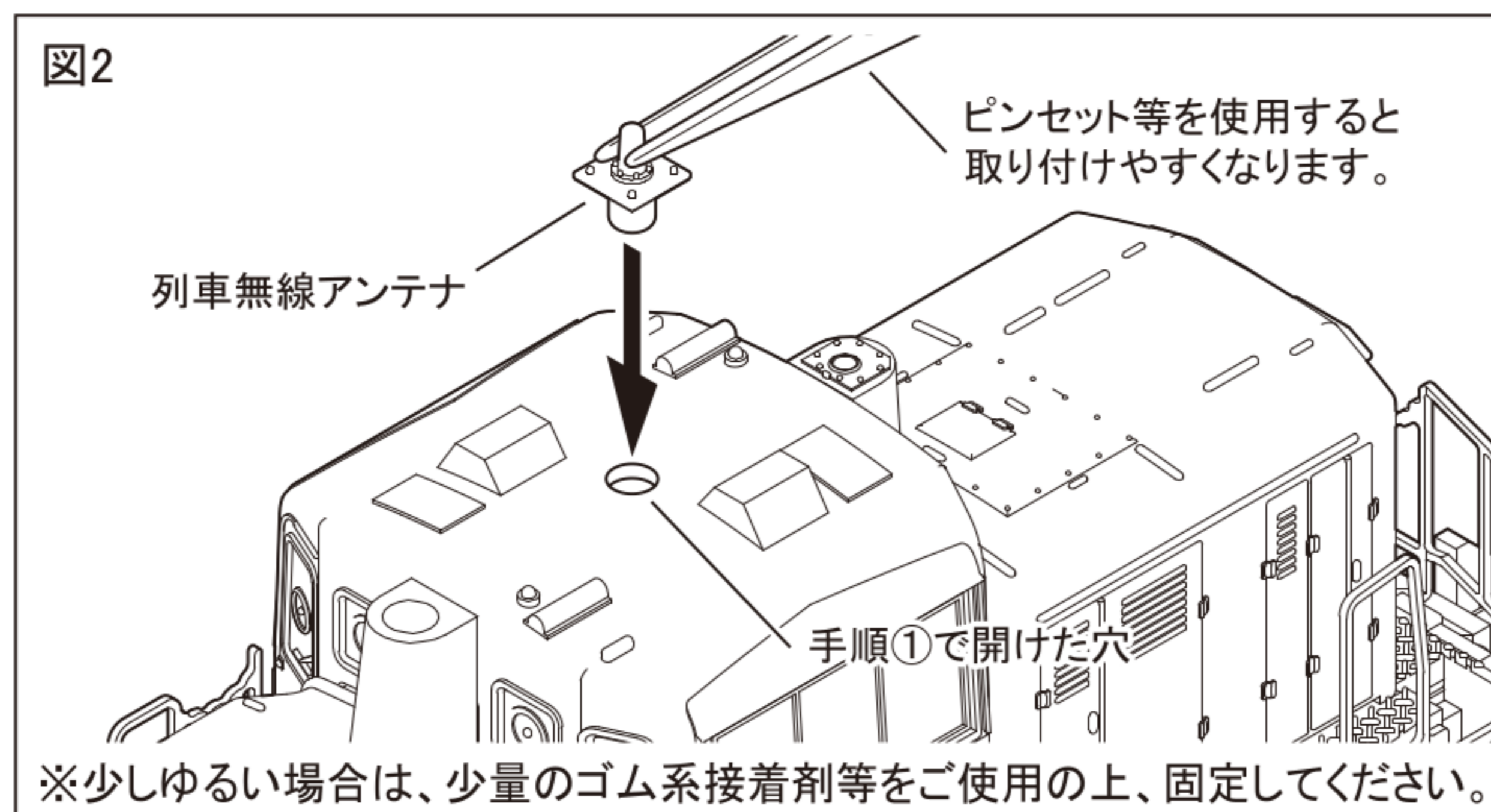
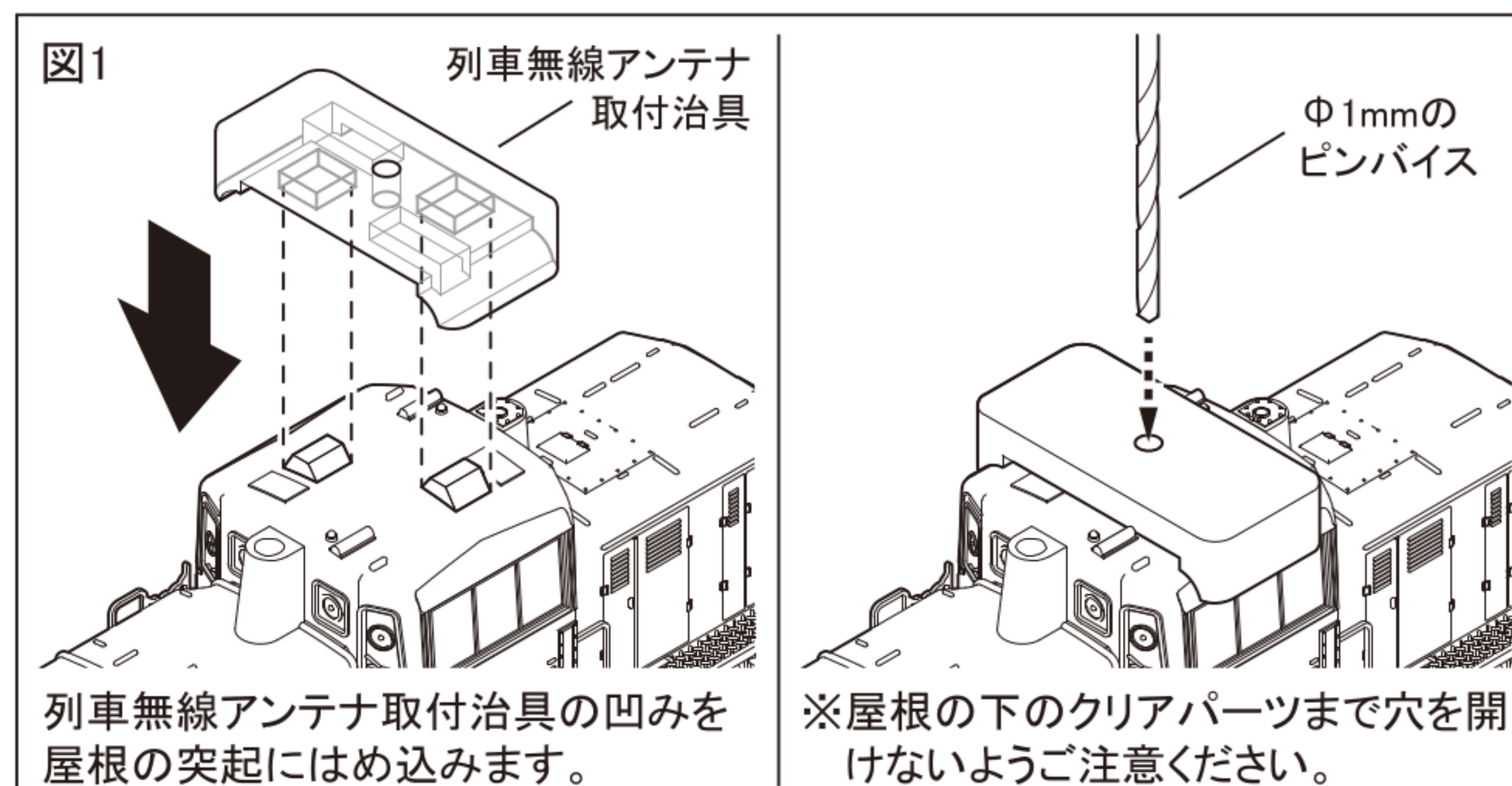
3 付属品の取り付け方

これから行う部品の取り付け工程は、模型を理解した上級者向けの作業となっております。加工する際には、ケガをしないよう工具の取り扱いに十分注意し、本製品の構造を良く理解したうえで慎重に作業を行ってください。

列車無線アンテナの取り付け方 ※この作業を行う際は、ピンバイス(Φ1mm)・ピンセット等が必要です。

お好みの車両タイプを再現できるよう、列車無線アンテナ取付穴は開けておりません。お好みで取り付ける場合は、この項目に従って取り付けしてください。

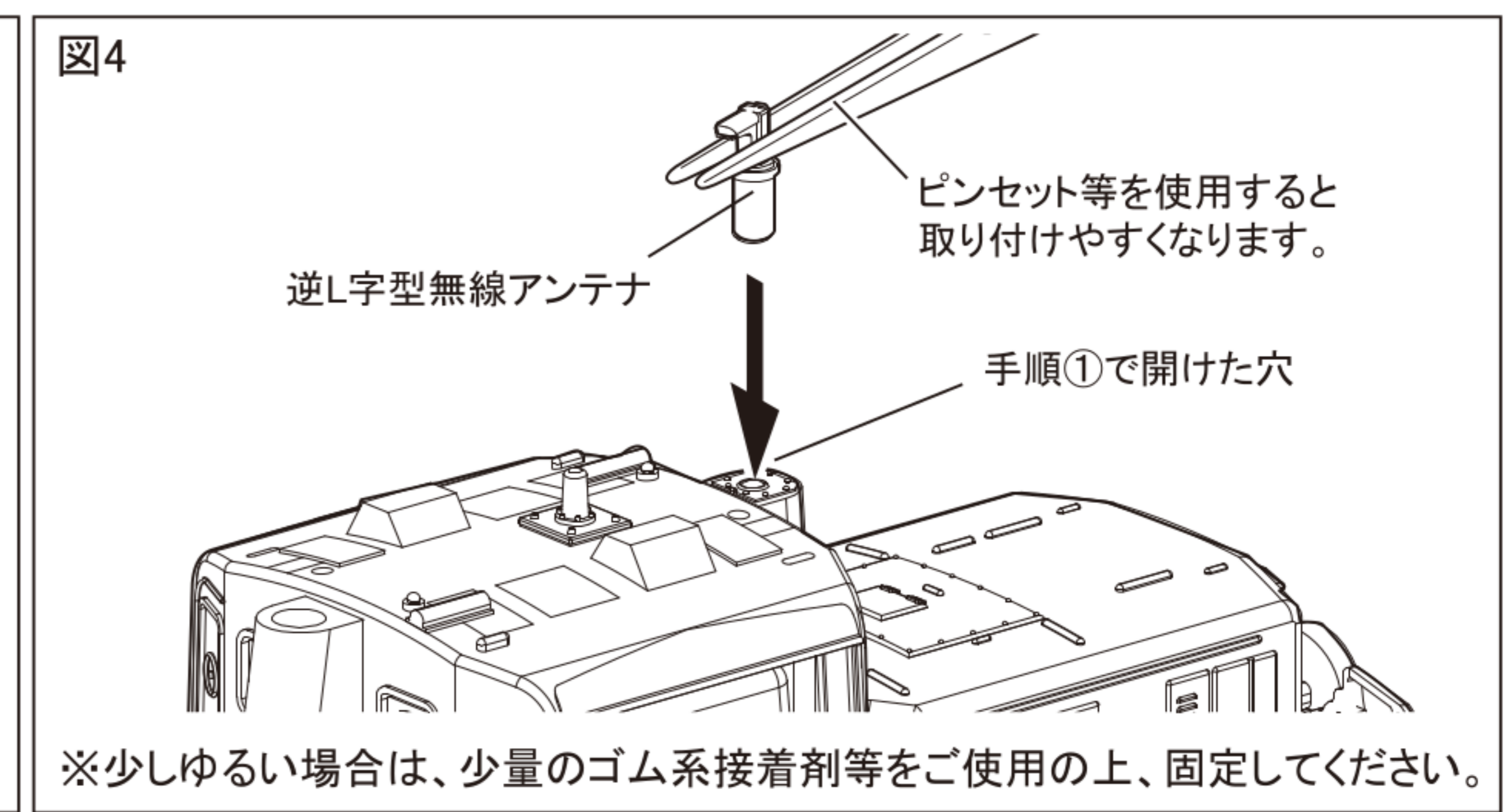
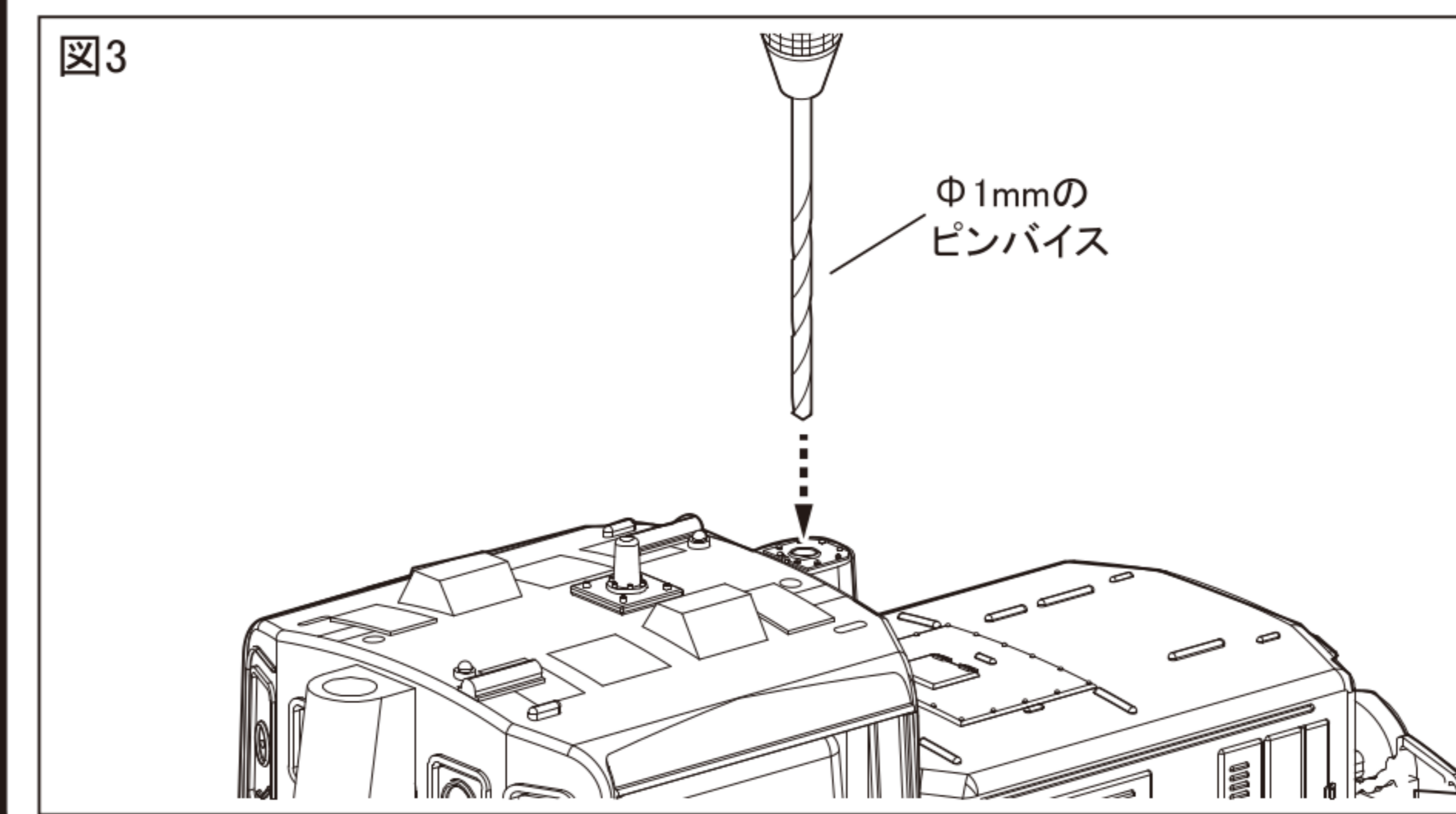
- ①列車無線アンテナ取付治具を図1の様に運転席の屋根に乗せます。列車無線アンテナ取付治具の真ん中に空いている穴に、Φ1mmのピンバイスを挿して穴を開けます。
- ②列車無線アンテナ取付治具を取り外します。ニッパー等を使用し、ランナーパーツから列車無線アンテナを根元からきれいに切り取り、図2を参考に手順①で開けた穴に差し込みます。



逆L字型無線アンテナの取り付け方 ※この作業を行う際は、ピンバイス(Φ1mm)・ピンセット等が必要です。

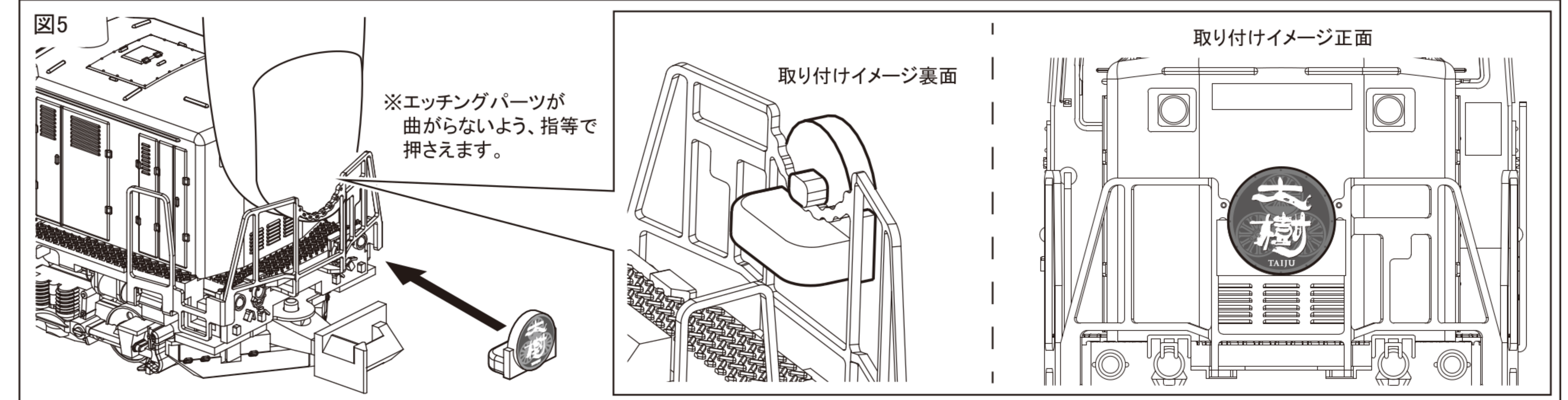
お好みの車両タイプを再現できるよう、逆L字型無線アンテナ取付穴は開けておりません。お好みで取り付ける場合は、この項目に従って取り付けしてください。

- ①2エンド側(ボンネットが短い側)の排気用煙突の穴に、Φ1mmのピンバイスを挿して穴を開けます。
- ②ニッパー等を使用し、ランナーパーツからアンテナをきれいに切り取り、図4を参考に手順①で開けた穴に差し込みます。



4 ヘッドマークについて

ヘッドマークをランナーパーツから切り離し、図7を参考に取り付けください。
 ※エッチングパーツを破損、または折り曲げないようご注意ください。完全に固定する場合は少量のゴム系接着剤をご使用の上、固定してください。



5 メンテナンスについて

5-1 メンテナンス

- 車両が走行しない場合、フィーダーケーブルやコンセントがきちんと挿し込まれていることをご確認ください。コントローラーの電源スイッチや方向切り替えスイッチの位置、電池の入れ忘れや入れ間違いにもご注意ください。
- 車両がスムーズに走行しなくなった場合、車輪やレールに汚れが付着している可能性があります。市販のレールクリーナーを乾いた布にしみ込ませ、車輪とレールの汚れを拭き取ってください。※車輪を拭き取る際は、過度に力を入れないようご注意ください。
- メンテナンスの際、パンタグラフや精密な部品、取り付けた部品などを紛失、破損しないようご注意ください。

5-2 手すりについて

デッキ部の手すりには、実車の持つ雰囲気再現を為、エッチングパーツを使用しています。この部品は、通常使用する分には問題のない強度を保持しておりますが、精密な部品の為、落下や故意に加えられた力等によっては、破損する恐れがありますので取り扱いには十分注意してください。万が一破損してしまった場合は、欠けた部品でケガや誤飲をしないよう取り扱いと保管に十分注意してください。

6 故障・修理について

- 誤った使用法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については弊社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の使用および外観は改良のため予告なく変更することがございます。
- 弊社は部品の販売はしておりません。
- 製品には万全の注意を払って製造にあっておりますが、万一お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。